

## 第4回県民満足度調査の結果

平成17年5月  
宮 城 県

## 目 次

趣 旨	1
調査方法等	1
調査結果の概要	2
1 政策の優先順位	3
重視度の高い政策	3
満足度の高い政策	4
重視度と満足度のかい離の大きい政策	5
属性別比較（重視度と満足度のかい離）	6
ア 圏域別	7
イ 男女別	7
ウ 年代別	7
2 施策の優先順位	8
圏域別優先度 1 位の施策	8
男女別優先度 1 位の施策	9
年代別優先度 1 位の施策	9

今回の分析は、平成 17 年 1 月末日（第 4 回満足度調査期間最終日）時点の行政区分を基準として行っています。このため、本冊子中、「登米圏域」及び「気仙沼・本吉圏域」と表現する場合、それぞれの圏域に含まれる市町村は以下のとおりとなりますので、注意願います。

「登米圏域」：登米市（ただし、旧津山町にあたる区域を除く。）

「気仙沼・本吉圏域」：気仙沼市，志津川町，本吉町，唐桑町，歌津町，登米市のうち旧津山町にあたる区域

趣旨

行政活動の評価に関する条例(平成13年宮城県条例第70号)第7条第2項の規定に基づき、第4回県民満足度調査で把握した県民の意識に関する情報を分かりやすく取りまとめ、公表するもの。

調査方法等

(1)調査主体

宮城県

(2)調査目的

県民の意向を数量化して把握し、データベース化した上で、次のような目的に活用する。

ア 県の政策、施策の評価に活用

イ 政策、施策の実施上の問題点と改善への糸口を発見するために活用

ウ 政策、施策に関する県民の意向に関する情報を県民と共有 等

(3)調査の種類及び回収状況等

種 類	調 査 対 象	調査対象者数	回収数(回収率)
一般県民満足度調査	20歳以上の県民	4,000名	1,727通 (43.2%)
有識者(市町村職員)満足度調査	県内69市町村の職員 (平成17年1月末日時点の市町村数)	828名	667通 (80.6%)
有識者(学識者等)満足度調査	学識者, マスコミ関係者, 企業経営者, 各種団体・NPO代表者	200名	70通 (35.0%)

(4)調査項目等

調査項目

ア 宮城県総合計画第 期実施計画で定める36政策の認知度, 関心度, 重視度, 満足度及び政策の中で優先すべき施策とその重視度及び満足度の7項目

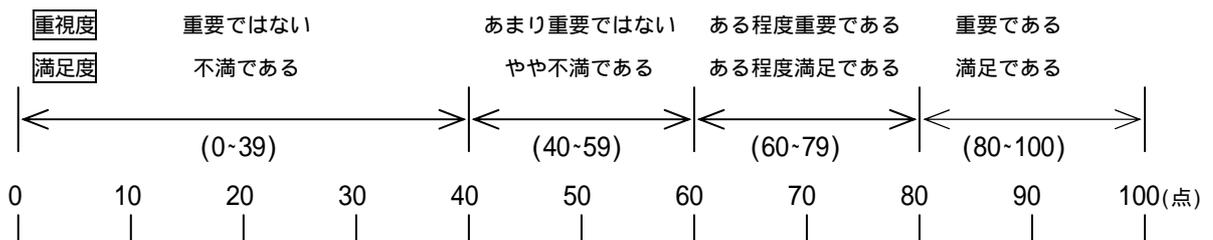
イ 回答者の属性に関する項目(性別, 年齢, 居住地, 職業等)

ウ 調査に対する評価に関する設問(記入の負担感, 所要時間, 調査方法の適切性等)

調査の尺度(スケール)

政策の認知度, 関心度については4段階評価で回答を得ているほか, 政策, 施策の重視度, 満足度については100点満点の点数で回答を得ている。

なお, 点数には, 次のような区分を設け, あらかじめ提示している。



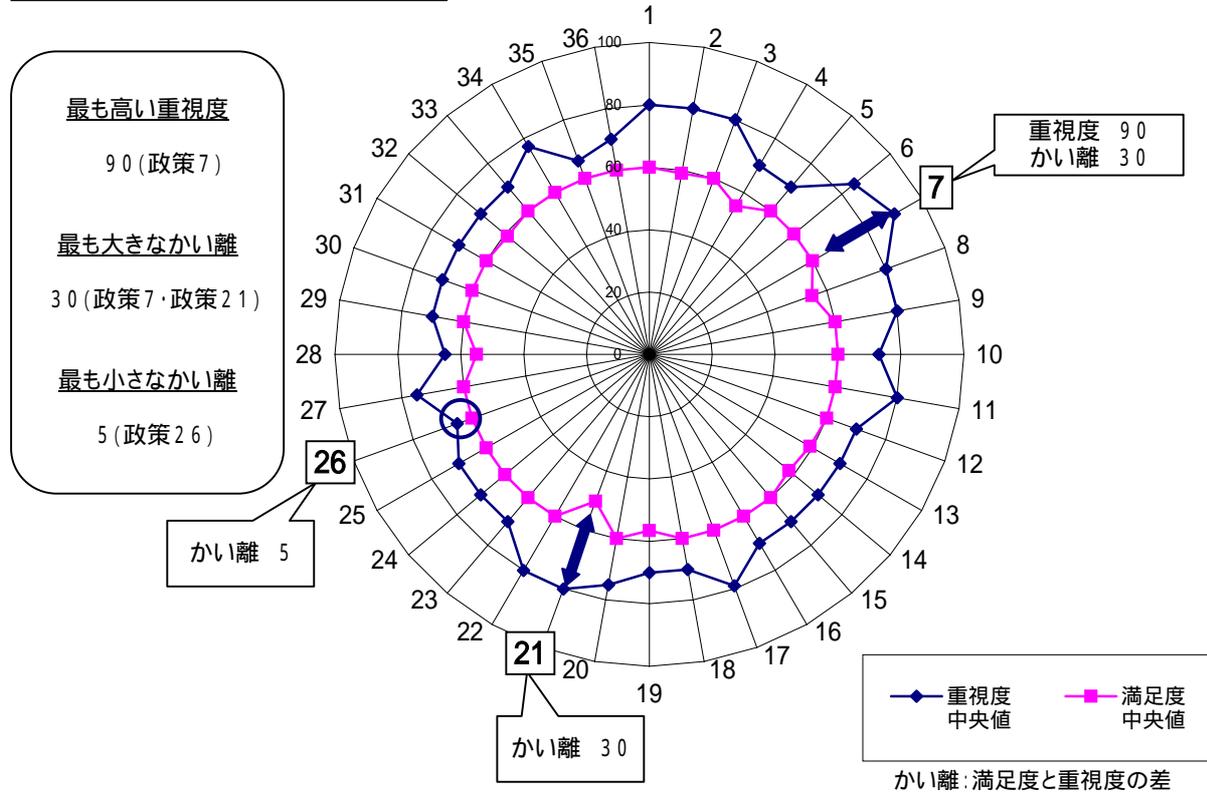
(5)調査期間

平成17年1月13日 ~ 平成17年1月31日

## 調査結果の概要

各政策の重視度と満足度の中央値を表すと下図のレーダーチャートとなります。

重視度と満足度のレーダーチャート



(単位:点)

分野	政策番号	政策名	中重視度	中満足度	かい離
なりわい	19	足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化	70.0	56.5	13.5
	20	産業・雇用のニーズの変化に対応した多様な職業能力開発の推進	75.0	60.0	15.0
	21	雇用の安定と勤労者福祉の充実	80.0	50.0	30.0
ふるさと	22	個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進	80.0	60.0	20.0
	23	生涯にわたって学び楽しめる環境の充実	70.0	60.0	10.0
	24	男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成	70.0	60.0	10.0
	25	爽り豊かなスポーツライフの実現	70.0	60.0	10.0
	26	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興	65.0	60.0	5.0
	27	多様な主体の協働による地域づくりの推進	75.0	60.0	15.0
	28	調和ある県土利用の推進	65.0	55.0	10.0
	29	条件不利地域の振興と都市と農山漁村との交流の推進	70.0	60.0	10.0
	30	地域の自立性を高めるための都市の再生と強化	70.0	60.0	10.0
	31	広域的な地域連携の推進	70.0	60.0	10.0
まじわり	32	分権社会の形成	70.0	59.0	11.0
	33	国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化	70.0	60.0	10.0
	34	国内の交流を進めるための交通基盤の整備	77.0	60.0	17.0
	35	国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進	66.0	60.0	6.0
	36	高度情報化に対応した社会の形成	70.0	60.0	10.0

分野	政策番号	政策名	中重視度	中満足度	かい離
くらし	1	障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり	80.0	60.0	20.0
	2	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり	80.0	59.0	21.0
	3	子どもを安心して生み育てることができる環境づくり	80.0	60.0	20.0
	4	誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備	70.0	55.0	15.0
	5	生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組	70.0	60.0	10.0
	6	県民が安心して暮らすための生活を送るための環境づくり	85.0	60.0	25.0
	7	美しい県土の保全と災害に強い地域づくり	90.0	60.0	30.0
	8	地球環境の保全	80.0	55.0	25.0
	9	環境負荷の少ない地域づくりの推進	80.0	60.0	20.0
	10	豊かな自然環境の保全・創造	73.0	60.0	13.0
	11	循環型社会の形成	80.0	60.0	20.0
なりわい	12	産業技術の高度化に向けた研究開発の推進	70.0	60.0	10.0
	13	新成長産業の創出・育成	70.0	59.0	11.0
	14	新しい時代を担う産業人の育成	70.0	58.0	12.0
	15	高度な産業技術の普及推進	70.0	60.0	10.0
	16	産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出	70.0	60.0	10.0
	17	消費者ニーズに即した産業活動の展開	79.0	60.0	19.0
	18	産業基盤の整備による生産力の強化	70.0	60.0	10.0

# 1 政策の優先順位

## 重視度の高い政策 (36の政策を重視度の高い方から順に整理して比較)

・県民が重視している政策(重視度80点以上)は、36政策中10政策で、その他の政策もある程度重要である(重視度60～79点)との結果でした。

・36政策のうちで、県民が最も重視している政策は、「美しい県土の保全と災害に強い地域づくり(政策7)」で、次いで「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり(政策6)」,「雇用の安定と勤労者福祉の充実(政策21)」の順となっています。これらの3政策は、「美しい県土の保全と災害に強い地域づくり(政策7)」の重視度が5ポイント上昇したことにより第1位となるなど、順位の変動はありましたが、第3回と同じ政策となりました。

・そのほかの政策について、第3回の結果と比べ重視度が上昇した政策として、「産業・雇用のニーズの変化に対応した多様な職業能力開発の推進(政策20)」<5ポイント上昇>、「多様な主体の協働による地域づくりの推進(政策27)」<4ポイント上昇>などがありました。

・逆に、重視度が下降した政策として、「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組(政策5)」<5ポイント下降>、「国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進(政策35)」<4ポイント下降>などがありました。

・この一般県民の結果を有識者の結果と比較すると、市町村職員では14の政策で、学識者等では31の政策で一般県民より高い重視度を示しています。

順位 (高)	政策 番号	政策名	第4回		第3回	(中央値:点)	
			中央値	4回-3回	中央値	有識者	
						市町村職員	学識者等
1	7	美しい県土の保全と災害に強い地域づくり	90.0	5.0	85.0	90.0	90.0
2	6	県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり	85.0	0.0	85.0	84.0	88.0
3	21	雇用の安定と勤労者福祉の充実	80.0	1.0	81.0	80.0	80.0
4	11	循環型社会の形成	80.0	0.0	80.0	80.0	85.0
5	2	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり	80.0	0.0	80.0	80.0	85.0
6	1	障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり	80.0	0.0	80.0	80.0	84.5
7	22	個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進	80.0	0.0	80.0	80.0	85.0
8	8	地球環境の保全	80.0	0.0	80.0	80.0	82.5
9	3	子どもを安心して生み育てることができる環境づくり	80.0	0.0	80.0	80.0	80.0
10	9	環境負荷の少ない地域づくりの推進	80.0	0.0	80.0	80.0	80.0
11	17	消費者ニーズに即した産業活動の展開	79.0	1.0	80.0	80.0	80.0
12	34	国内の交流を進めるための交通基盤の整備	77.0	1.0	76.0	80.0	80.0
13	20	産業・雇用のニーズの変化に対応した多様な職業能力開発の推進	75.0	5.0	70.0	70.0	80.0
	27	多様な主体の協働による地域づくりの推進	75.0	4.0	71.0	80.0	80.0
15	10	豊かな自然環境の保全・創造	73.0	3.0	70.0	75.0	80.0
16	5	生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組	70.0	5.0	75.0	80.0	80.0
17	4	誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備	70.0	2.0	72.0	70.0	78.0
	29	条件不利地域の振興と都市と農産漁村との交流の推進	70.0	0.0	70.0	70.0	75.0
19	14	新しい時代を担う産業人の育成	70.0	0.0	70.0	75.0	80.0
	18	産業基盤の整備による生産力の強化	70.0	0.0	70.0	75.0	80.0
	31	広域的な地域連携の推進	70.0	0.0	70.0	80.0	74.0
	32	分権社会の形成	70.0	0.0	70.0	80.0	80.0
23	36	高度情報化に対応した社会の形成	70.0	0.0	70.0	79.0	80.0
24	13	新成長産業の創出・育成	70.0	0.0	70.0	70.0	80.0
	16	産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出	70.0	0.0	70.0	75.0	80.0
	19	足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化	70.0	0.0	70.0	70.0	80.0
	24	男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成	70.0	0.0	70.0	70.0	75.0
	30	地域の自立性を高めるための都市の再生と強化	70.0	0.0	70.0	70.0	80.0
29	33	国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化	70.0	0.0	70.0	70.0	80.0
30	12	産業技術の高度化に向けた研究開発の推進	70.0	0.0	70.0	70.0	80.0
31	23	生涯にわたって学び楽しめる環境の充実	70.0	0.0	70.0	70.0	75.0
32	15	高度な産業技術の普及推進	70.0	0.0	70.0	70.0	80.0
33	25	実り豊かなスポーツライフの実現	70.0	0.0	70.0	70.0	70.0
34	35	国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進	66.0	4.0	70.0	70.0	71.0
35	26	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興	65.0	3.0	62.0	70.0	70.0
	28	調和ある県土利用の推進	65.0	0.0	65.0	70.0	70.0

注1: 「中央値」とは、回答者をデータの値の小さい順に並べた時に、真ん中に位置する回答者の値です。

注2: 順位は、一般県民の中央値でつけています。

注3: 中央値が同数値の場合、その他の指標等を基に順位をつけています。

注4: 「有識者」欄の網掛けは「一般県民」と比べ、重視度が高いもの、二重線の四角囲みは重視度が低いものを示しています。

## 満足度の高い政策 (36の政策を満足度の高い方から順に整理して比較)

・36政策のうちで、県民がある程度満足している(満足度60点)政策は、「障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり(政策1)」など27政策で、残りの9政策はやや不満であるとの結果でした。特に、「雇用の安定と勤労者福祉の充実(政策21)」は、満足度50点で、第1回から4回連続で最も満足度が低い政策になっています。

・第3回の結果と比べると、満足度が下降した政策はなく、第3回ではやや不満であった政策のうち、「環境負荷の少ない地域づくりの推進(政策9)」<5ポイント上昇>、「産業・雇用のニーズの変化に対応した多様な職業能力開発の推進(政策20)」<5ポイント上昇>など、15政策で満足度が上昇しました。

・これにより、やや不満である政策は第3回の17政策から9政策へと約半数に減少しました。特に、「産業技術の高度化に向けた研究開発の推進(政策12)」<5ポイント上昇>、「高度な産業技術の普及推進(政策15)」<5ポイント上昇>、「新成長産業の創出・育成(政策13)」<4ポイント上昇>など、産業関連で満足度の上昇した政策が多く見られました。

・この一般県民の結果を有識者の結果と比較すると、市町村職員では「調和ある県土利用の推進(政策28)」など7政策で、学識者等では「高度情報化社会に対応した社会の形成(政策36)」など9政策で一般県民より高い満足度を示しています。

順位 (高)	政策 番号	政策名	第4回		第3回	(中央値:点)	
			中央値	4回-3回	中央値	市町村職員	学識者等
1	1	障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり	60.0	0.0	60.0	60.0	60.0
2	6	県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり	60.0	0.0	60.0	60.0	60.0
	11	循環型社会の形成	60.0	0.0	60.0	60.0	60.0
4	5	生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組	60.0	0.0	60.0	60.0	60.0
5	17	消費者ニーズに即した産業活動の展開	60.0	0.0	60.0	60.0	60.0
6	10	豊かな自然環境の保全・創造	60.0	0.0	60.0	60.0	60.0
	33	国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化	60.0	0.0	60.0	60.0	60.0
	34	国内の交流を進めるための交通基盤の整備	60.0	0.0	60.0	60.0	60.0
9	27	多様な主体の協働による地域づくりの推進	60.0	0.0	60.0	60.0	60.0
10	7	美しい県土の保全と災害に強い地域づくり	60.0	0.0	60.0	60.0	60.0
	23	生涯にわたって学び楽しめる環境の充実	60.0	0.0	60.0	60.0	60.0
	25	実り豊かなスポーツライフの実現	60.0	0.0	60.0	60.0	60.0
13	35	国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進	60.0	0.0	60.0	60.0	60.0
14	22	個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進	60.0	0.0	60.0	60.0	60.0
15	3	子どもを安心して生み育てることができる環境づくり	60.0	0.0	60.0	60.0	60.0
	9	環境負荷の少ない地域づくりの推進	60.0	5.0	55.0	60.0	60.0
	16	産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出	60.0	1.0	59.0	60.0	60.0
	18	産業基盤の整備による生産力の強化	60.0	0.0	60.0	60.0	60.0
	20	産業・雇用のニーズの変化に対応した多様な職業能力開発の推進	60.0	5.0	55.0	60.0	60.0
	24	男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成	60.0	1.0	59.0	60.0	60.0
	26	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興	60.0	0.0	60.0	60.0	60.0
	31	広域的な地域連携の推進	60.0	0.0	60.0	60.0	60.0
	36	高度情報化に対応した社会の形成	60.0	0.0	60.0	60.0	65.0
24	29	条件不利地域の振興と都市と農産漁村との交流の推進	60.0	5.0	55.0	60.0	60.0
25	12	産業技術の高度化に向けた研究開発の推進	60.0	5.0	55.0	60.0	60.0
	15	高度な産業技術の普及推進	60.0	5.0	55.0	60.0	60.0
27	30	地域の自立性を高めるための都市の再生と強化	60.0	2.0	58.0	60.0	60.0
28	2	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり	59.0	1.0	58.0	55.0	60.0
29	32	分権社会の形成	59.0	1.0	58.0	60.0	60.0
	13	新成長産業の創出・育成	59.0	4.0	55.0	60.0	60.0
31	14	新しい時代を担う産業人の育成	58.0	3.0	55.0	60.0	60.0
32	19	足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化	56.5	1.5	55.0	60.0	60.0
33	4	誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備	55.0	1.5	53.5	59.0	60.0
34	8	地球環境の保全	55.0	2.0	53.0	59.0	60.0
35	28	調和ある県土利用の推進	55.0	0.0	55.0	60.0	55.0
36	21	雇用の安定と勤労者福祉の充実	50.0	0.0	50.0	50.0	60.0

注1: 「中央値」とは、回答者をデータの値の小さい順に並べた時に、真ん中に位置する回答者の値です。

注2: 順位は、一般県民の中央値でつけています。

注3: 中央値が同数値の場合、その他の指標等を基に順位をつけています。

注4: 「有識者」欄の網掛けは「一般県民」と比べ、満足度が高いもの、二重線の四角囲みは満足度が低いものを示しています。

**重視度と満足度のかい離の大きい政策** (36の政策を重視度中央値と満足度中央値の差が大きい順に整理して比較)

・36政策のうち10政策で、かい離20以上になっており「重要だと考えているにもかかわらず不満である」という状態になっています。特に、「美しい県土の保全と災害に強い地域づくり(政策7)」及び「雇用の安定と勤労者福祉の充実(政策21)」はかい離30で最も大きなかい離となっています。

・かい離の状況を第3回の結果と比べると、36政策中5政策でかい離が増加し、18政策でかい離が減少しています。

・かい離が増加した政策のうち、「美しい県土の保全と災害に強い地域づくり(政策7)」及び「多様な主体の協働による地域づくりの推進(政策27)」の2政策は、重視度の上昇に伴い、2年連続でかい離が増加しています。一方、産業関連などで、2年連続でかい離の減少した政策が6政策ありました。

・この一般県民の結果を有識者の結果と比較すると、市町村職員では14の政策で、学識者等では30の政策で一般県民より大きなかい離を示しています。

・このうち、市町村職員では「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気への予防への取組(政策5)」及び「広域的な地域連携の推進(政策31)」で、一般県民と比較して10ポイントかい離が大きくなっています。また、学識者等では「産業技術の高度化に向けた研究開発の推進(政策12)」など7政策で10ポイントかい離が大きくなっています。

・逆に、市町村職員では「県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり(政策6)」など6政策で、学識者等では「雇用の安定と勤労者福祉の充実(政策21)」で10ポイント及び「地球環境の保全(政策8)」で2.5ポイント、一般県民と比較してかい離が小さくなっています。

(中央値:点)

順位 (高)	政策 番号	政策名	第4回			第3回		第2回	有識者	
			かい離	4回-3回	かい離	3回-2回	かい離	市町村職員	学識者等	
1	7	美しい県土の保全と災害に強い地域づくり	30.0	5.0	25.0	5.0	20.0	30.0	30.0	
	21	雇用の安定と勤労者福祉の充実	30.0	1.0	31.0	4.0	35.0	30.0	20.0	
3	6	県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり	25.0	0.0	25.0	5.0	20.0	24.0	28.0	
	8	地球環境の保全	25.0	2.0	27.0	2.0	25.0	21.0	22.5	
5	2	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり	21.0	1.0	22.0	0.5	21.5	25.0	25.0	
6	1	障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	24.5	
	3	子どもを安心して生み育てることができる環境づくり	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	
	9	環境負荷の少ない地域づくりの推進	20.0	5.0	25.0	0.0	25.0	20.0	20.0	
	11	循環型社会の形成	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	25.0	
	22	個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	25.0	
11	17	消費者ニーズに即した産業活動の展開	19.0	1.0	20.0	0.0	20.0	20.0	20.0	
12	34	国内の交流を進めるための交通基盤の整備	17.0	1.0	16.0	0.0	16.0	20.0	20.0	
13	4	誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備	15.0	3.5	18.5	1.5	20.0	11.0	18.0	
	20	産業・雇用のニーズの変化に対応した多様な職業能力開発の推進	15.0	0.0	15.0	5.0	20.0	10.0	20.0	
	27	多様な主体の協働による地域づくりの推進	15.0	4.0	11.0	1.0	10.0	20.0	20.0	
16	19	足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化	13.5	1.5	15.0	5.0	20.0	10.0	20.0	
17	10	豊かな自然環境の保全・創造	13.0	3.0	10.0	5.0	15.0	15.0	20.0	
18	14	新しい時代を担う産業人の育成	12.0	3.0	15.0	2.0	17.0	15.0	20.0	
19	13	新成長産業の創出・育成	11.0	4.0	15.0	0.0	15.0	10.0	20.0	
	32	分権社会の形成	11.0	1.0	12.0	0.0	12.0	20.0	20.0	
21	5	生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気への予防への取組	10.0	5.0	15.0	0.0	15.0	20.0	20.0	
	12	産業技術の高度化に向けた研究開発の推進	10.0	5.0	15.0	4.0	19.0	10.0	20.0	
	15	高度な産業技術の普及推進	10.0	5.0	15.0	0.0	15.0	10.0	20.0	
	16	産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出	10.0	1.0	11.0	0.0	11.0	15.0	20.0	
	18	産業基盤の整備による生産力の強化	10.0	0.0	10.0	5.0	15.0	15.0	20.0	
	23	生涯にわたって学び楽しめる環境の充実	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	15.0	
	24	男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成	10.0	1.0	11.0	0.0	11.0	10.0	15.0	
	25	実り豊かなスポーツライフの実現	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	10.0	
	28	調和ある県土利用の推進	10.0	0.0	10.0	1.0	11.0	10.0	15.0	
	29	条件不利地域の振興と都市と農産漁村との交流の推進	10.0	5.0	15.0	0.0	15.0	10.0	15.0	
	30	地域の自立性を高めるための都市の再生と強化	10.0	2.0	12.0	2.0	14.0	10.0	20.0	
	31	広域的な地域連携の推進	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	20.0	14.0	
35	35	国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	19.0	15.0	
36	26	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興	6.0	4.0	10.0	0.0	10.0	10.0	11.0	
			5.0	3.0	2.0	0.0	2.0	10.0	10.0	

注1: 重視度の中央値から満足度の中央値を引いた差のことを、「かい離」と表現しています。

注2: 「有識者」欄の網掛けは「一般県民」と比べ、かい離が大きいもの、二重線の四角囲みはかい離が小さいものを示しています。

注3: 「有識者」欄の太字は「一般県民」と比べ、かい離が10ポイント大きなものを示しています。

**属性別比較** (重視度中央値と満足度中央値のかい離の大きさ)

**ア 圏域別**

・36政策について、県内7圏域ごとに重視度と満足度のかい離の状況を取りまとめ、県全体と比較すると、県全体で最もかい離の大きい「美しい県土の保全と災害に強い地域づくり(政策7)」は、圏域によりかい離に差が見られ、登米圏域では5ポイント、栗原圏域では10ポイントかい離が小さくなっています。また、「雇用の安定と勤労者福祉の充実(政策21)」についても、仙台圏域及び仙南圏域、ならびに栗原圏域ではかい離が小さくなっている一方で、石巻圏域及び気仙沼・本吉圏域でかい離がそれぞれ40及び35と大きくなっています。

・気仙沼・本吉圏域では、「産業基盤の整備による生産力の強化(政策18)」がかい離25で県全体(かい離10)と比べ15ポイントと大幅に大きくなっているほか、計15政策で県全体よりも5ポイント以上大きなかい離を示しました。

・仙南圏域では、環境関連の政策で、登米圏域及び石巻圏域では、産業関連の政策で大きなかい離を示しています。

**イ 男女別**

・36政策について、男女別に重視度と満足度のかい離の状況を県全体と比較すると、県全体で最もかい離の大きい「美しい県土の保全と災害に強い地域づくり(政策7)」及び「雇用の安定と勤労者福祉の充実(政策21)」は、男女とも大きなかい離を示しています。

分野	政策番号	政策名 県全体での 重視度・満足 度(かい離)	属性ごとのかい離											
			圏域別							性別		年代別		
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	男性	女性	65歳未満	65歳以上	
く ら し い	1	障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	
	2	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり	21	25	20	20	25	20	25	30	25	21	25	20
	3	子どもを安心して生み育てることができる環境づくり	20	20.5	20	20	19	15	20	24	15	20	20	10
	4	誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備	15	16	20	11	10	17	16.5	21.5	19	16	13	17
	5	生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組	10	10	14	14	10	15	10	11	10	15	15	10
	6	県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり	25	25	30	20	21	23.5	27	25	25	25	25	20
	7	美しい県土の保全と災害に強い地域づくり	30	30	30	28.5	20	25	30	30	30	30	30	20
	8	地球環境の保全	25	30	30	20.5	20	30	30	23	27	22	25	26
	9	環境負荷の少ない地域づくりの推進	20	20	21	15	20	21.5	20	20	20	20	20	16
	10	豊かな自然環境の保全・創造	13	14	20	10	10	15	10	15	15	10	15	10
	11	循環型社会の形成	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
な り わ い	12	産業技術の高度化に向けた研究開発の推進	10	10	10	10	10	15	10	10	10	10	10	
	13	新成長産業の創出・育成	11	10	10	12	10	14	11	20	15	10	11	10.5
	14	新しい時代を担う産業人の育成	12	12.5	10	11.5	11	15	20	22	15	12	12	13
	15	高度な産業技術の普及推進	10	6	10	10	10.5	20	6.5	10	10	10	10	11
	16	産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出	10	10	10	10	10	10	10	18	10	10	10	10
	17	消費者ニーズに即した産業活動の展開	19	15	16	20	17	20	15	20	19	18	19	19
	18	産業基盤の整備による生産力の強化	10	10	10	10	10	10	10	25	15	10	10	10

1 印の見かた

- ▲ 県全体と比較してかい離が5大きい
- ▲▲ 県全体と比較してかい離が5より大きく10より小さい
- ▲▲▲ 県全体と比較してかい離が10以上大きい
- ▼ 県全体と比較してかい離が5小さい
- ▼▼ 県全体と比較してかい離が5より大きく10より小さい
- ▼▼▼ 県全体と比較してかい離が10以上小さい

2 かい離が30以上の場合を太字で示している。

**属性別比較**(重視度中央値と満足度中央値のかい離の大きさ) <つづき>

・県全体のかい離と比較して、男性では「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり(政策3)」が5ポイント小さく、「産業基盤の整備による生産力の強化(政策18)」が5ポイント大きくなっています。また、女性では、「生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組(政策5)」が5ポイント大きくなっています。

・男女間のかい離の比較では、「国内の交流を進めるための交通基盤の整備(政策34)」で、男性のかい離20に対し、女性ではかい離13で7ポイントの開きがあるのが最大で、このほか9政策で5ポイント以上の差となりました。

**ウ 年代別**

・年代間のかい離の比較では、「美しい県土の保全と災害に強い地域づくり(政策7)」で65歳未満のかい離30に対し、65歳以上のかい離20で10ポイント、「雇用の安定と勤労者福祉の充実(政策21)」で65歳未満のかい離35に対し、65歳以上のかい離24.5で10.5ポイントの差がありました。

・このほか、「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり(政策3)」で10ポイントの差があったのをはじめとして、6政策で5ポイント以上の差がありました。

分野	政策番号	政策名 県全体での 重視度・満足 度(かい離)	属性ごとのかい離											
			圏域別						性別		年代別			
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 本吉	男性	女性	65歳未満	65歳以上	
なりわい	19	足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化	13.5	11	11	15	10	20	11	15	12	15	14	12
	20	産業・雇用のニーズの変化に対応した多様な職業能力開発の推進	15	12.5	10	15	15	12	21	23.5	15	12	15	12
	21	雇用の安定と勤労者福祉の充実	30	25	23	30	22	30	40	35	30	29	35	24.5
ふるさと	22	個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
	23	生涯にわたって学び楽しめる環境の充実	10	10	10	10	10	10	9	10	10	10	10	10
	24	男女共同参画社会の実現と全ての人が参加できる社会の形成	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	25	実り豊かなスポーツライフの実現	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	26	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興	5	6	0	0	5	1	1.5	10	1	5	1	8
	27	多様な主体の協働による地域づくりの推進	15	15	10	10	15	12	15	14	11	15	14.5	15
	28	調和ある県土利用の推進	10	12	10	10.5	6	15	4	15	14	8	10	14
	29	条件不利地域の振興と都市と農産漁村との交流の推進	10	10	10	10	12	11	10	20	12	10	10	10
	30	地域の自立性を高めるための都市の再生と強化	10	10	10	14	12	14.5	10	16.5	10	10	10	10
	31	広域的な地域連携の推進	10	10	10	10	10	10	10	13	10	10	10	10
まじわり	32	分権社会の形成	11	10	10	11.5	10	15	15	25	15	10	12	10
	33	国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	34	国内の交流を進めるための交通基盤の整備	17	18	15	15	10	15	15	25	20	13	18	15
	35	国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進	6	10	10	5	5	0	10	5	5	10	6	5
	36	高度情報化に対応した社会の形成	10	10	10	10	10	10	10	16	10	10	10	10

かい離の大きさにより分類した場合の各カテゴリーに属する政策数												
かい離 30以上	2	2	3	1	0	2	3	3	2	1	2	0
25以上 30未満	2	3	0	1	1	1	2	4	3	2	3	1
20以上 25未満	6	5	9	8	8	9	7	12	5	7	5	7
20未満	26	26	24	26	27	24	24	17	26	26	26	28

## 2 施策の優先順位

- ・36政策ごとの優先度1位の施策は次ページの表のとおりです。
- ・この結果を、第3回と比べると、3政策（「子どもを安心して生み育てることが出来る環境づくり（政策3）」、「個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進（政策22）」、「実り豊かなスポーツライフの実現（政策25）」）の優先度1位の施策が下表のとおり変わりました。そのほかの政策の優先度1位の施策は、前回と同じ結果でした。

政策3 子どもを安心して生み育てることが出来る環境づくり				
第4回	子育て家庭の経済的な負担の軽減		第3回	出産や子育てのしやすい労働環境の整備
政策22 個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進				
第4回	地域社会と学校教育との協働の推進		第3回	特色ある学校づくり
政策25 実り豊かなスポーツライフの実現				
第4回	地域と連携した学校体育・スポーツの推進に向けた環境の充実		第3回	生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実

### 圏域別優先度1位の施策

- ・全体の優先度1位と圏域別の優先度1位を比較すると、36政策のうち「どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり(政策2)」など17政策で違いがみられます。
- ・このうち、福祉関連政策である「どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり(政策2)」では、全体では「地域の中核的な病院の整備」であったのに対し、仙台及び石巻圏域では「地域の中核的な病院の整備」及び「救急医療体制の充実」が同率で優先度1位でした。また、「産業基盤の整備による生産力の強化(政策18)」では、全体では「物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備」であったのに対し、大崎、栗原ならびに登米圏域では「ほ場整備等農業に必要な基盤の整備」が、石巻圏域では「戦略的な企業誘致」が、気仙沼・本吉圏域では「漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備」がそれぞれ優先度1位となり、圏域ごとの差が顕著にみられました。

### 男女別優先度1位の施策

- ・全体の優先度1位と男女別の優先度1位を比較すると、36政策のうち「子どもを安心して生み育てることができる環境づくり(政策3)」など7政策で違いがみられます。
- ・差のみられた政策は、男性では産業及び教育関連の3政策で、このうち「産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出(政策16)」では「農林水産物の付加価値の向上」が優先度1位でした。女性では福祉及び産業、ならびに教育関連の4政策で、「雇用の安定と勤労者福祉の充実(政策21)」では「女性が働きやすい環境の整備」が優先度1位でした。

### 年代別優先度1位の施策

- ・全体の優先度1位と年代別の優先度1位を比較すると、36政策のうち「子どもを安心して生み育てることが出来る環境づくり(政策3)」など10政策で違いがみられます。
- ・差のみられた政策は、65歳未満では産業及び教育関連の2政策で、「産業技術の高度化に向けた研究開発の推進(政策12)」では「農業分野の研究開発」及び「創造的研究開発の推進」が同率で優先度1位でした。65歳以上では福祉及び産業、ならびに教育関連の8政策で、「雇用の安定と勤労者福祉の充実(政策21)」では「高齢者の雇用・就業機会の拡大」が優先度1位でした。

分野	政策番号	政策名											
		県全体での優先度1位施策											
		属性ごとの優先度(県全体と同じ施策が優先度1位の場合、各属性の欄は空白としている)											
		圏域別					性別		年代別				
		仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉	男性	女性	65歳未満	65歳以上	
く ら し	1	障害者・高齢者が地域で自分らしい生活を送るための環境づくり											
		介護が必要な高齢者を支えるサービスの充実											
	2	どこに住んでいても必要な医療や保健サービスが受けられる環境づくり											
		地域の中核的な病院の整備	地域の中核的な病院の整備 救急医療体制の充実				地域の中核的な病院の整備 救急医療体制の充実						
	3	子どもを安心して生み育てることができる環境づくり											
		子育て家庭の経済的な負担の軽減			出産や子育てのしやすい労働環境の整備	出産や子育てのしやすい労働環境の整備				出産や子育てのしやすい労働環境の整備		子育て家庭の経済的な負担の軽減 出産や子育てのしやすい労働環境の整備	
	4	誰もが暮らしやすいバリアフリー・ユニバーサルデザイン環境の整備											
		誰もが利用しやすい施設や道路等の整備											
	5	生涯を健康に暮らすための健康づくりと病気の予防への取組											
		生活習慣病の早期発見と予防											
	6	県民が安心して安全な生活を送るための環境づくり											
	犯罪のない安心して暮らせるまちづくり												
7	美しい県土の保全と災害に強い地域づくり												
	地域ぐるみの防災体制整備	震災対策の推進											
8	地球環境の保全												
	地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の削減												
9	環境負荷の少ない地域づくりの推進												
	河川や湖沼、海等の水環境(特に水質)の保全		ダイオキシン類やPCB廃棄物等の化学物質の低減及び適正処理の推進										
10	豊かな自然環境の保全・創造												
	身近な緑の保全・再生・創造						森林の適正な管理						
11	循環型社会の形成												
	廃棄物の資源化によるリサイクル												
な り わ い	12	産業技術の高度化に向けた研究開発の推進											
		農業分野の研究開発	創造的研究開発の推進	創造的研究開発の推進			創造的研究開発の推進	水産業分野の研究開発				農業分野の研究開発 創造的研究開発の推進	
	13	新成長産業の創出・育成											
		医療・福祉関連産業の創出・育成											
	14	新しい時代を担う産業人の育成											
		農林水産業の発展を担う人材の育成											
	15	高度な産業技術の普及推進											
		普及活動を推進する専門的技術者の養成											
	16	産業間の連携と地域資源の活用による産業活力の創出											
		魅力ある商店街づくりによる商業の振興				農林水産物の付加価値の向上		農林水産物の付加価値の向上	農林水産物の付加価値の向上			農林水産物の付加価値の向上	
	17	消費者ニーズに即した産業活動の展開											
	安全・安心な食料生産のための衛生管理の高度化												
18	産業基盤の整備による生産力の強化												
	物流、情報通信、エネルギー等産業活動に必要な基盤の整備		ほ場整備等農業に必要な基盤の整備	ほ場整備等農業に必要な基盤の整備	ほ場整備等農業に必要な基盤の整備	戦略的な企業誘致	漁港、漁場等水産業に必要な基盤の整備	戦略的な企業誘致			ほ場整備等農業に必要な基盤の整備		

分野	政策番号	政策名											
		県全体での優先度1位施策											
		属性ごとの優先度(県全体と同じ施策が優先度1位の場合、各属性の欄は空白としている)											
		圏域別					性別		年代別				
		仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼本吉	男性	女性	65歳未満	65歳以上	
なりわい	足腰の強い産業育成に向けた経営基盤の強化												
	19	中小企業の経営基盤の強化			農業における経営基盤の強化	農業における経営基盤の強化	農業における経営基盤の強化		水産業における経営基盤の強化		農業における経営基盤の強化		農業における経営基盤の強化
	産業・雇用のニーズの変化に対応した多様な職業能力開発の推進												
なりわい	20	個人が自ら職業能力開発できる環境整備	職業能力開発のための施設、設備の充実					職業能力開発のための施設、設備の充実					職業能力開発のための施設、設備の充実
	雇用の安定と勤労者福祉の充実												
なりわい	21	雇用の創出	雇用の創出・高齢者の雇用・就業機会の拡大							女性が働きやすい環境の整備			高齢者の雇用・就業機会の拡大
	個性・創造性・豊かな心を培う教育の推進												
なりわい	22	地域社会と学校教育との協働の推進											
	生涯にわたって学び楽しめる環境の充実												
なりわい	23	生涯学習を支援する関連施設の整備・充実	多様なニーズに対応した学習機会の提供	多様なニーズに対応した学習機会の提供									地域の主体的な生涯学習を支援する人材の育成
	男女共同参画社会の実現と全ての人に参加できる社会の形成												
なりわい	24	男女がともに個性と能力を發揮できる社会づくり											高齢者がいきいきと生活する社会づくり
	誇り豊かなスポーツライフの実現												
なりわい	25	地域と連携した学校体育・スポーツの推進に向けた環境の充実	生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実			生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実	生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実			生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実			生涯スポーツ社会の実現に向けた環境の充実
	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興												
ふるさと	26	文化財、伝統文化の保存・継承・活用	美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり							美術や演劇など文化・芸術活動に親しむための環境づくり			
	多様な主体の協働による地域づくりの推進												
ふるさと	27	県・市町村・住民の協働による地域づくり											
	調和ある県土利用の推進												
ふるさと	28	土地の計画的利用の推進											
	条件不利地域の振興と都市と農産漁村との交流の推進												
ふるさと	29	過疎地域の振興	森林や農地等の持つ多面的機能の維持・増進					農山漁村環境の整備					
	地域の自立性を高めるための都市の再生と強化												
ふるさと	30	快適な居住環境の整備											
	広域的な地域連携の推進												
ふるさと	31	生活・医療面での連携											
	分権社会の形成												
まじり	32	住民参加型の行政運営											
	国内外との交流の窓口となる空港や港湾機能の強化												
まじり	33	仙台空港へのアクセス等周辺施設の整備と活用						地域を支える港湾の整備と活用					
	国内の交流を進めるための交通基盤の整備												
まじり	34	国道、県道、市町村道の整備	バスや鉄道などの公共交通ネットワークの整備										
	国際性豊かな人材の育成と県民参加型の国際交流・国際協力の推進												
まじり	35	さまざまな分野の県民の国際交流・協力の推進											
	高度情報化に対応した社会の形成												
まじり	36	県民生活に関する情報化の推進											